

JCI-TC-155A 建設分野へのジオポリマー技術の適用に関する研究委員会
第 10 回幹事会_議事録

日 時：2016 年 12 月 19 日(月) 13:30～16:00

場 所：JCI 第 3 会議室

出席者：(委員長) 一宮, (幹事長) 新, (幹事) 国枝, 合田

欠席者：畑中, 原田

配布資料：K10-0 第 10 回幹事会_議事次第

K10-1 第 9 回幹事会_議事録 (案)

K10-2 第 5 回全体委員会_議事録 (案)

K10-3 委員名簿

K10-4 報告書目次 (案) 161219 版

K10-5 geopolymer-book-chapter1

K10-6 WG2 関連資料

議事

1. 委員長挨拶

一宮委員長より挨拶があった。

2. 第 9 回幹事会_議事録の確認

新幹事長より,【配布資料 K10-1】に基づいて資料内容の確認が行われた。一部の誤植修正の後,承認された。

3. 第 5 回全体委員会_議事録ならびに委員名簿の確認

新幹事長より,【配布資料 K10-2】【配布資料 K10-3】に基づいて資料内容の確認が行われた。次回の全体委員会にて承認を得ることとなった。

4. 最終報告会の実施計画

・日時：2017 年 9 月 29 日(金) 10:00~16:30

・場所：品川区立総合区民会館 きゅりあん 小ホール (東京都品川区東大井 5-18-1)

・プログラム： 第一部 WG 成果報告
 第二部 研究発表会
 第三部 特別講演 (Prof. J. Davidovits)

- ・17 時まで完全に完全撤収できるタイムテーブルとする。
- ・WG の成果報告は中間報告会の形式を参考にする。
- ・研究発表の実施方法については引き続き検討課題とする。
- ・研究発表の発表時間は中間報告会に倣って発表 10 分質問コメント 5 分とする。
- ・Prof. J.Provis が諸事情により来日できないため, Prof. J.Davidovits に講演依頼し快諾された。
- ・特別講演については, 80 分程度(質問コメント含む)を目安とする。
- ・旅費謝金について, 適宜調整を図り, Davidovits 氏に失礼のないよう適切に対応する。

- ・控室として楽屋があるものの、Davidovits 氏の対応が可能なようにホテルや応接スペースの手配を行う。なお、対応は一宮委員長が行う予定。

5. 委員会報告書の目次（案）の検討

一宮委員長より、【配布資料 K10-4】【配布資料 K10-5】に基づいて報告書目次について審議した。

- ・全体で 200 ページ程度を目安とする。
- ・執筆担当は WG に関わらず、作業量も考慮して決定する。
- ・本委員会報告書目次(案)に JCI 九州支部の報告書内容を振り分けながら、イメージの共有を図る。
- ・J. Davidovits 氏著の GEOPOLYMER(4th Edition)に記載された内容を適宜引用しながら、国内外の知見をとりまとめる。調査文献については、各章節で内容を紹介しながら、巻末付録に文献一覧を掲載する。
- ・製造施工に関する内容については、今春のデルフト工科大での RILEM 委員会の内容やジオポリマー研究所の HP (GEOPOLYMER Wabinar) を参照しながら、建設材料のみならず幅広くとりまとめる方針とする。

6. WG の活動報告

【WG1】反応機構（主査：新幹事長，副査：橋本委員）

- ・2017 年 1 月から月 1 回の頻度で WG を開催予定。報告書では網羅すべき内容が広範囲にわたりボリュームが多くなることが予想される。

【WG2】力学特性・耐久性・構造（主査：国枝幹事，副査：佐川（康）委員）【配布資料 K10-6】

- ・共通実験について、11 機関が参加予定で、実験方法について最終調整中。

【WG3】製造・施工（主査：原田幹事，副査：合田幹事）

- ・11 月 17 日に WG を開催した。
- ・製造施工の資料収集ならびに、国内外の文献調査(JCI, 土木学会, 建築学会など)を取りまとめ中。12 月中に終了予定。

6. 今後の予定ならびに予算の執行計画

研究専門委員会(TC155A)		研究委員会(委員長出席)	
H28.11.17	WG3 打合せ	H28.10.13	第 103 回 研究委員会
H28.12.19	第 10 回 幹事会		
H29.03.07	第 12 回 幹事会(最終) 第 6 回 全体委員会(最終)	H29.02.01	第 104 回 研究委員会
H29.09.29	報告会(きゅりあん, 大井町)		